

# 令和元年度事業報告

## I. 総括

本会は、健康でたくましい県民の育成を図るため、県民総スポーツならびに競技力向上を目指して積極的に諸事業を実施した。

第74回国民体育大会に向けて、強化練習・遠征等の競技力向上対策に取り組み、25競技で入賞し、総合得点1,391点を獲得（参加点400点含）、天皇杯10位および皇后杯11位で目標を達成できた。競技団体代表者との意見交換も行いながら、県スポーツ協会、県選手強化対策委員会、競技団体が一体となって、目標達成に向けて競技力向上対策を推進した。また、第75回国民体育大会冬季大会では2競技で入賞し、競技得点合計19点で冬季総合順位27位と健闘し、本大会へ勢いがついた。

競技力向上対策事業のジュニア対策として、スポーツ能力測定会や競技体験会を行い、運動能力の優れた子どもを発掘するとともに、さらに能力を高めるための育成プログラムを実施した。

福井国体での競技会開催地で、県民スポーツ祭競技大会の実施を推奨し、福井国体レガシーを継承させて生涯スポーツの普及に努めた。

なお、新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年3月に開催予定であった本会第5回理事会を含む各種会議を中止や書面による決議とした。また、県民スポーツ祭の1競技会等を中止した。

## II. 事業内容

### 1. 競技力向上事業

「福井県競技力向上基本計画」に基づき、積極的かつ効果的な事業展開に取り組んだ。

	事業名	内容
(1)	競技力向上対策事業	① 国民体育大会、各種全国大会に向けた競技力向上 ・国体強化対策事業 41 競技 ・プレ強化事業 25 競技 (991 点) ・高校生トップアスリート確保事業 106 名 (16 競技) ・ふくいナショナルアスリートマルチサポート事業 24 名 ・特別強化コーチ配置事業 43 名 (20 競技) ・専門トレーナー派遣事業 23 競技 ② ジュニア対策 ・未来のアスリート発掘・育成事業 (測定会 3 回、体験会 12 競技、育成プログラム 4 回) ・ジュニア育成強化事業 21 競技
(2)	積善会スポーツ振興事業	① 少年スポーツの振興 ・ジュニアアスリートサポート事業 15 名 (4 競技)
(3)	ゴルフ寄金事業	強化選手に対し激励品を支給した。

(4)	関係会議等 開催事業	① 競技力向上対策委員会 ・令和元年4月25日 福井県生活学習館 ・ 〃 9月5日 福井県営体育館 ・ 〃 12月11日 福井県営体育館
		② 国体入賞対策会議（県と共催） ・令和元年6月7日 福井県営体育館
		③ 国体結果検討会（県と共催） ・令和元年11月13日 フェニックス・プラザ
		④ 加盟団体理事長会議 ・中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、資料送付）

## 2. 国体等派遣事業

### (1) 国体派遣事業

国体に本県代表として選考された監督・選手を派遣した。

大会名	会期	開催地	参加者数
第74回国民体育大会	令和元年9月28日～10月8日 〈会期前実施〉9月7日～16日	茨城県	555名
第75回国民体育大会 冬季大会	〈スケート競技会〉 令和2年1月29日～2日2日 〈スキー競技会〉2月16日～19日	青森県 富山県	48名

### (2) 北信越国体派遣事業

北信越国体に本県代表として選考された監督・選手を派遣した。

大会名	会期	開催地	参加者数
第40回 北信越国民体育大会	令和元年8月23日～25日 〈会期前実施〉5月5日～	石川県	735名

## 3. スポーツ医・科学関係事業

	事業名	内容
(1)	医・科学活用 推進事業	<p>成年・少年強化指定選手を対象に、スポーツ医・科学の研究成果を取り入れた計画的な練習やトレーニングの導入、栄養管理、傷害予防、メンタルトレーニング、リハビリ等の医・科学サポートを実施した。</p> <p>① メディカルチェック・フィットネスチェック ・令和元年度に新たに指定を受けた選手にアンケートを送付し、必要な選手には2次検診を行った。</p> <p>② 国民体育大会帯同サポート ・北信越国体 15名 ・本大会 15名 ・冬季大会 0名</p> <p>③ 第8回福井県スポーツ医科学研究大会 ・令和元年11月10日 福井商工会議所 69名参加</p>

(2) 研修会等 開催事業	国体選手を中心にドーピング防止教育・啓発活動を実施した。 競技団体や学校に心理・アンチドーピング・女性アスリートサ ポートの出前研修会を実施した。	
	① アンチドーピング研修会	3回 約1,000名
	② アンチドーピング出前研修会	6回 約150名
	③ メンタルトレーニング出前研修会	47回 約160名
	④ ルナコントロール出前研修会	1回 約20名

#### 4. 1県民1スポーツ推進事業

##### (1) 県民スポーツ祭開催事業

福井国体のレガシーを継承し、県民の多様なスポーツニーズに応え県民総スポーツを推進するため、県内一円において69競技・種目による「県民スポーツ祭」を開催した。

新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年3月に開催予定であったバスケットボール競技会（交流の部）を中止した。

名称	開催地	実施期間	参加者数
19 県民スポーツ祭	県下一円	平成31年4月～令和2年2月 総合開会式：7月6日	39,887名

##### (2) スポーツ体験事業

「1県民1スポーツ」の理念を推進し、実施した。

名称	会場	実施期日
みんなでスポーツフェスタ	福井県営体育館	令和元年7月6日
はぴりゅうフェスタ (スポーツ体験ブース)	サンドーム福井	令和元年12月14日～15日

#### 5. 関係団体育成事業

	事業名	内容
(1)	スポーツ振興事業	本会加盟の17市町スポーツ協会・46競技団体が行うスポーツ普及振興事業に対して助成した。
(2)	総合型地域スポーツクラブ育成推進事業	生涯スポーツ社会の実現に向けて、日本スポーツ協会事業によりクラブアドバイザーを配置し、総合型地域スポーツクラブ福井県連絡協議会の育成・発展を推進した。(会員27クラブ)
(3)	スポーツ指導者協議会育成事業	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資質向上と活動促進を図り、福井県スポーツ指導者協議会の育成・発展を推進した。(会員2,272名)

## 6. スポーツ指導者育成事業

	事業名	内容
(1)	公認スポーツ指導者養成講習会	<p>県内スポーツ指導現場で活躍できる指導者を養成するため、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の養成講習会を実施した。</p> <p>① 弓道コーチ 1 21名 ② 軟式野球コーチ 1 23名</p>
(2)	スポーツ指導者研修会	<p>県内スポーツ指導者の資質向上と活動促進を図り、研修会を開催した。</p> <p>① 令和元年8月17日 越前市 AW-I スポーツアリーナ 15名 ② 令和2年2月23日 福井県生活学習館 292名</p>

## 7. スポーツ少年団育成事業

令和元年度の福井県スポーツ少年団の登録は、団数 491 団、団員数 9,088 名、指導者数 2,467 名となった。

主な事業として、各種事業への団員派遣、指導者の養成・研修、市町スポーツ少年団の組織整備強化等を実施した。

	事業名	内容	参加者数
(1)	第46回日独スポーツ少年団同時交流(受入)	<p>スポーツ活動を中心に、相互の文化・習慣等に触れる交流・研修により、参加者の国際性の高揚と両国の親善を図ることを目的に実施した。</p> <p>令和元年7月25日～28日 あわら市</p>	ドイツ団員 リーダー1名 団員 11名 通訳 1名
(2)	指導者および育成母集団研修会 兼 認定育成員研修会	<p>スポーツ少年団指導者および団員保護者・スポーツ少年団認定育成員を対象とした研修会を開催した。</p> <p>令和元年9月21日 アイアイ鯖江・健康福祉センター</p>	145名
(3)	スポーツリーダー養成講習会 兼 スポーツ少年団認定員養成講習会	<p>地域住民のスポーツの生活化・定着化を促進するスポーツリーダーの養成とスポーツ少年団認定員の養成を実施した。(4会場)</p>	233名
(4)	幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及推進研修会	<p>幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラムの周知・普及することを目的として研修会を開催した。(3会場)</p>	53名

## 8. 広報・情報提供事業

	事業名	内容
(1)	広報普及活動事業	国際大会や国民体育大会等における本県選手の活躍、事業および加盟団体の活動内容、各種表彰等の広報として、「スポ協ニュース」を年3回発行し、関係各所へ配布した。(計4,900部)
(2)	スポーツ情報公開事業	公式ホームページにより各種情報を公表した。 ・組織、事業概要等 ・国体等のタイムリーな結果報告

## 9. 表彰事業

本県のスポーツ振興に著しく貢献したものを表彰した。

	表彰名	対象者	受賞数
(1)	スポーツ功労者賞	本会または加盟団体の発展のために長年尽力し、功績が顕著な個人	28名
(2)	優秀選手賞	全国大会ならびに国際大会で優秀な成績を収めた者	261名
(3)	優秀指導者賞	前項(2)の優秀選手を育成した指導者	15名
(4)	国民体育大会賞	その年の国体で、天皇杯および皇后杯得点に貢献した競技団体、監督、選手	団体 25 団体 個人 274 名
(5)	特別表彰	本県のスポーツ振興に長年にわたって尽力し、特に顕著な功績を残した個人、団体	個人 2 名

## 10. その他

(1) 全国大会、ブロック大会および県大会等の共催・後援

(2) 安全管理の強化の取り組み

- ・国民体育大会参加者傷害補償制度への加入を促進した。
- ・加盟団体の賠償責任保険への加入を促進した。
- ・スポーツ安全保険への加入を促進した。

区分	加入者数	対象団体
A1・AW	31,415	中学生以下のスポーツ活動
A2	3,586	高校生以上の文化活動等
B	4,734	65歳以上のスポーツ活動
C	17,426	高校生以上のスポーツ活動
D	0	危険度の高いスポーツ活動
短期スポーツ教室	140	
合計	57,301	